

# 鶴舞音読広場

## 大須の観音さま

大須観音は中区大須にある真言宗のお寺で、正式には北野山真福寺といっています。別名は宝生院で、大須観音は通称です。もともとは尾張国中島郡大須（今の岐阜県羽島市）にありました。この場所は木曾三川の中州で、しばしば洪水に見舞われました。慶長十年の木曾川の洪水により真福寺は大破しました。その後、徳川家康の命令により、慶長十七年（一六一二）に名古屋の城下である今の場所に移転しました。江戸時代には境内は盛り場として繁盛し、「尾張名所図会」など、当時の様子がわかる資料も残っています。

真福寺は、残念ながら明治二十五年に火災にあい、昭和二十年には戦災にあいました。現在の本堂は昭和四十五年に再建されたものです。

真福寺には、初代住職・能信が集めた書物を中心とした「真福寺文庫」があります。現在の場所に移った後、尾張藩に保護され、大切にされました。この文庫だけは戦災からも奇跡的に逃れました。文庫は、仏書・漢書・国書あわせて一万五千点余を所蔵しています。ここには、平安時代から室町時代までの書物があり、なかでも『古事記』など四点が国宝です。この『古事記』は応安四年（一三七一）～五年に書き写されたものとされています。

『國史大辭典』 吉川弘文館 1980

『大須観音 いま開かれる奇跡の文庫』 大須観音宝生院 2012